

美しい 県土づくりNEWS



2009 年

10 月

岩手県県土整備部

手づくり広報誌 63 号

平成 21 年 10 月 15 日発行

編集 県土整備企画室

黄金の國、
いわて。

の 買うなら岩手のもの
じいわて

目次

- 2 スカifesta 2009 を開催しました
- 4 道路愛護団体等に対する感謝状の贈呈式を行いました
- 5 『下水道フェスタ'09』を開催しました
- 7 一般国道 455 号『北山バイパス』が開通します
- 8 岩手・宮城内陸地震の被災現場で市民災害研修を開催
- 9 岩手・宮城内陸地震の崩落土砂対策工事が進行中
- 10 津波防災に関する出前講座を開催
- 11 自転車利用促進社会実験のご紹介(盛岡市)
- 12 釜石港にジブクレーンが登場(釜石市)
- 13 10 月は『耐震促進運動月間』です
- 14 『津波防災推進フォーラム』を開催します

「イギリス海岸」が出現！！

～北上川上流5ダムが連携して放流調整～

宮沢賢治が名づけた『イギリス海岸』は、普段北上川の川の中にあるため見ることはできませんが、国土交通省と県が連携し、上流にある5つのダム(四十四田、御所、綱取、早池峰、田瀬)の放流を制限して水位を下げる取り組みが行われ、宮沢賢治の命日である9月21日に『イギリス海岸』が約10年ぶりに出現しました。

当日は、秋の大型連休でもあり県内外から多くの人々が訪れ、賢治が触れた風景の中で思い思いのひとときを楽しみました。

出現した『イギリス海岸』



『イギリス海岸』の感触を楽しむ人たち



昔の『イギリス海岸』





「空の日（9月20日）」を記念し、9月23日（火）に「いわて花巻空港スカイフェスタ 2009」を開催しました。平成6年度に花巻空港開港 30 周年記念事業として初めてのスカイフェスタを開催してから今回で 16 回目の開催となります。平成 21 年4月9日に新ターミナルがオープンしてから初めての大きなイベントで、国（航空局、気象庁）、県、民間（航空会社、ターミナルビルなど）の空港関係者はもとより、利用促進に取り組む地元花巻市、花巻商工会議所、利用促進協議会、さらに花巻空港整備工事等の建設会社、空港周辺の地域の人々が協力し、官民一体となって実施しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、アクロバット飛行・防災航空隊のデモンストレーションなどのほか、バザーコーナー・国内就航地PRコーナー・台湾PRコーナーなどの「イベントテント」、太鼓演奏・吹奏楽演奏・弦楽ミニコンサート・よさこいソーラン・カントリーダンスなどを披露した「ステージイベント」、普段は見る事が出来ない「管制塔・気象室見学」など、様々なイベントを開催し、10,330 人のお客様で大いに賑わいました。

本イベントの開催などを通じて、いわて花巻空港が皆さまから親しまれ、地域とともにより一層発展する空港となるよう努めてまいりますので、ご旅行・ご出張などの際には、いわて花巻空港を是非ご利用ください。



日本が誇る世界のエアロパティックスパイロット室屋義秀氏が率いる
民間エアロパティックチーム「ティーフブルース」によるアクロバット飛行



防災航空隊救助デモンストレーション
(岩手県防災航空隊による救助活動の実演)



走行・放水デモンストレーションを行った
空港用化学消防車



空港内一周バスツアー



たくさんのお客様で賑わったイベントテントエリア



ステージイベントの様子



岩手県警察本部少年サポートセンター



国内就航地PRコーナー(札幌・大阪・名古屋)
中部国際空港(セントレア)の方々が来訪しPRを実施



台湾PRコーナー
台湾のおいしい烏龍茶を無料で提供しました

「空の日」とは??

日本の航空活動は、日野・徳川両陸軍大尉が初飛行を行った明治 43 年（1910 年）から始まっています。

それから 30 年目の昭和 15 年（1940 年）に、日本の航空の歴史を記念し航空思想の高揚と航空技術の振興を図り、航空日本の将来の発展に努めるための国家的行事を実施すべきとの意向が航空関係者の間で強く要望されました。そのため、9 月 20 日を「航空日」とすることが制定され、その後、民間航空再開 40 周年にあたる平成 4 年には、よりソフトな呼び方の「空の日」と呼ぶこととし、併せて「空の旬間」を設けて各種記念行事が行われています。

いつもありがとうございます！！

道路愛護団体等に対する感謝状の贈呈式を行いました！

道路環境課

国土交通省及び県では、毎年、道路の安全と道路の正しい利用の促進、道路の美化・清掃、路肩の除草、花壇の整備等多年にわたり功績のあった民間の団体又は個人に対して、感謝状を贈り表彰しています。

今年度は、9月24日に盛岡市のエスポワールいわてで、国土交通大臣表彰2団体、知事表彰2団体に対し、感謝状の伝達・贈呈を行いました。



佐藤県土整備部長から感謝状を贈呈

◆ ◆ ◆ 受賞団体のご紹介 ◆ ◆ ◆

国土交通大臣表彰

◇ 岩手県立東和高等学校（花巻市）

昭和44年から毎年、生徒会の取り組みとして学校周辺の道路清掃を全校生徒で行ってきましたが、来年3月で閉校となることから、今年度が最後の活動となりました。40年間、本当にありがとうございました。



◇ 小石浜部落会（大船渡市）

昭和57年から、地域の全世帯と婦人部の参加により、地域内の道路の草刈り、ごみ拾いに取り組んできました。

地域内の道路は「自分の庭だと思ってきれいにしよう」との思いで毎年活動が続けられているそうです。



岩手県知事表彰

◇ 藤根地区道路愛護会（北上市）

平成6年から、年3回、延べ1,558人で地区全域の県道及び市道の清掃、草刈り、砂利敷き、カーブミラーの点検、道路パトロールにと、住民が一体となり、道路の維持管理と美化活動に積極的に取り組んでいます。



◇ 向田交通安全推進グループ（洋野町）

平成6年から、向田地区の老人クラブ・婦人会・子供会がグループを結成し、世代間の交流を図りながら主要地方道八戸大野線の花壇整備や空き缶拾いに取り組んでいます。1年中花を絶やさないよう心がけているそうです。



道路は、私たちの日々の暮らしや経済活動を支える、なくてはならない共有の財産です。
きれいに、安全に、楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう！！

『下水道フェスタ '09』を開催しました！！

下水環境課

北上川上流流域下水道事務所

昭和 36 年に「全国下水道促進デー」として始まった「下水道の日」は、今年で第 49 回を迎えました。

県では、「下水道の日」の記念行事として、平成 21 年 9 月 12 日(土)に都南浄化センターを会場に『下水道フェスタ '09』を開催し、当日は 717 名ものたくさんのお客様でにぎわいました。



たくさんの人々でにぎわう屋外会場

「下水道の日」とは??

下水道は、「浸水から街を守る」という重要な役割を持つことから、立春から数えて 220 日、統計的に台風などが多いこの時期の毎年 9 月 10 日を「下水道の日」と定めています。

◆イベントの目玉『下水道ツアー』

「下水道ツアー」は、下水が浄化され、川に帰るまでの過程を職員の案内により施設ごとに見学するイベントの目玉です。

見学時間は約 30 分程度で、普段は見ることの出来ない下水道施設を見学していただきました。

- ①油分等の固まりであるスカムや細かいゴミを取り除く
最初沈殿池
- ②最初沈殿池からオーバーフローした下水中の汚濁物質を
微生物の集まり（活性汚泥）の力で除去する**反応タンク**
- ③活性汚泥と浄化された上澄み水とに分離する**最終沈殿池**
- ④取り除いたゴミ等（汚泥）を処理する**汚泥処理設備**

汚泥の大部分は焼却し、灰はセメントの原料に、残りは堆肥などに行っていることを知り、見学者からは「下水を処理して川に流すだけでなく、汚泥もすべてリサイクルされていることを知り感心した」などの声が多数聞かれました。



下水道ツアー(反応タンク)



下水道ツアー(汚泥処理設備)

◆このほかに……

下水道ツアーの他にも微生物シアター、廃油キャンドルづくり、ペットボトル工作、下水道スタンブラー、パソコンによる下水道ゲームやクイズなど、下水道の知識や環境を守る大切さを理解できる様々なイベントを行い、子供から大人まで楽しんでいただきました。

これをきっかけに、たくさんの方々に下水道への関心を持っていただき、今以上に大切に、正しく使っていただければ幸いです。また、下水道の接続普及がさらに進むことを期待しています。



ペットボトル工作を楽しむ子供たち



下水道ゲームに夢中です



下水道関連機器の操作体験(バックホウ)



下水道関連機器の操作体験(管渠調査用カメラ)

◆おまけ情報

目玉イベント「下水道ツアー」には下水道施設の見学の他にも、サプライズがありました。

- ★ 巨大な配管が張りめぐる、地下道の探検！
- ★ 幻の巨大鯉との遭遇！・・・etc

家族連れで参加した子供からは、「とてもワクワクした！」などの声がありました。

下水道フェスタは毎年 9 月上旬に開催しています。来年も様々な催しを準備して皆さまのご来場をお待ちしています。

サプライズ企画 地下道の探検！
来年は一体どんな催しが・・・？

～渋滞解消、医療機関へのアクセス改善に大きな期待～

盛岡地方振興局土木部

なお、一般開放（供用開始）に先立って、現地にて開通式典を行います。

北山トンネル 三ツ割側

日 時：平成21年10月26日（月）
16時00分
区 間：国道4号から洞清水まで 1.4km

【問合せ先】盛岡地方振興局土木部道路整備課 TEL : 019-629-6641 E-mail : BA0006@pref.iwate.jp

岩手・宮城内陸地震の被災現場で市民災害研修を開催！！

～災害現場の復旧状況を公開し防災意識の向上～

一関総合支局土木部

県と一関市では、平成21年10月10日、11日、12日の3日間、岩手・宮城内陸地震で被災した国道342号真湯～須川間（約15km）において一般市民を対象とした市民災害研修を開催しました。本研修は、大規模に被災した災害現場と復旧状況を直接肌で感じてもらうことにより、防災意識の向上を図ることを目的として開催したもので、3日間で75人の市民が参加しました。

研修では、昨年の地震発生時から通行止めとなっている国道342号須川～真湯間をバスで案内し、大規模崩落で道路が寸断した「茂庭沢」、「オーレン」、「烏帽子の2」、「須川の6」の4箇所でバスから降りて、災害の規模や復旧工事の進捗状況などの説明を行いました。

参加者は、大規模に崩落した斜面などを目の前にして自然災害の恐ろしさを実感するとともに、工事が相当進んでいることに驚いた様子でした。

国道342号須川～真湯間は、11月中旬には本年度中に実施予定の災害復旧工事が終了する見込みであり、**平成22年6月に全面通行止めを解除する予定**です。



- | | |
|-------------------|---|
| 道路災害復旧（21箇所 関連含む） | — |
| 橋梁災害復旧（3箇所） | ▲ |
| 1.5車線整備箇所（23箇所） | — |
| 大規模崩落箇所（4箇所） | ● |



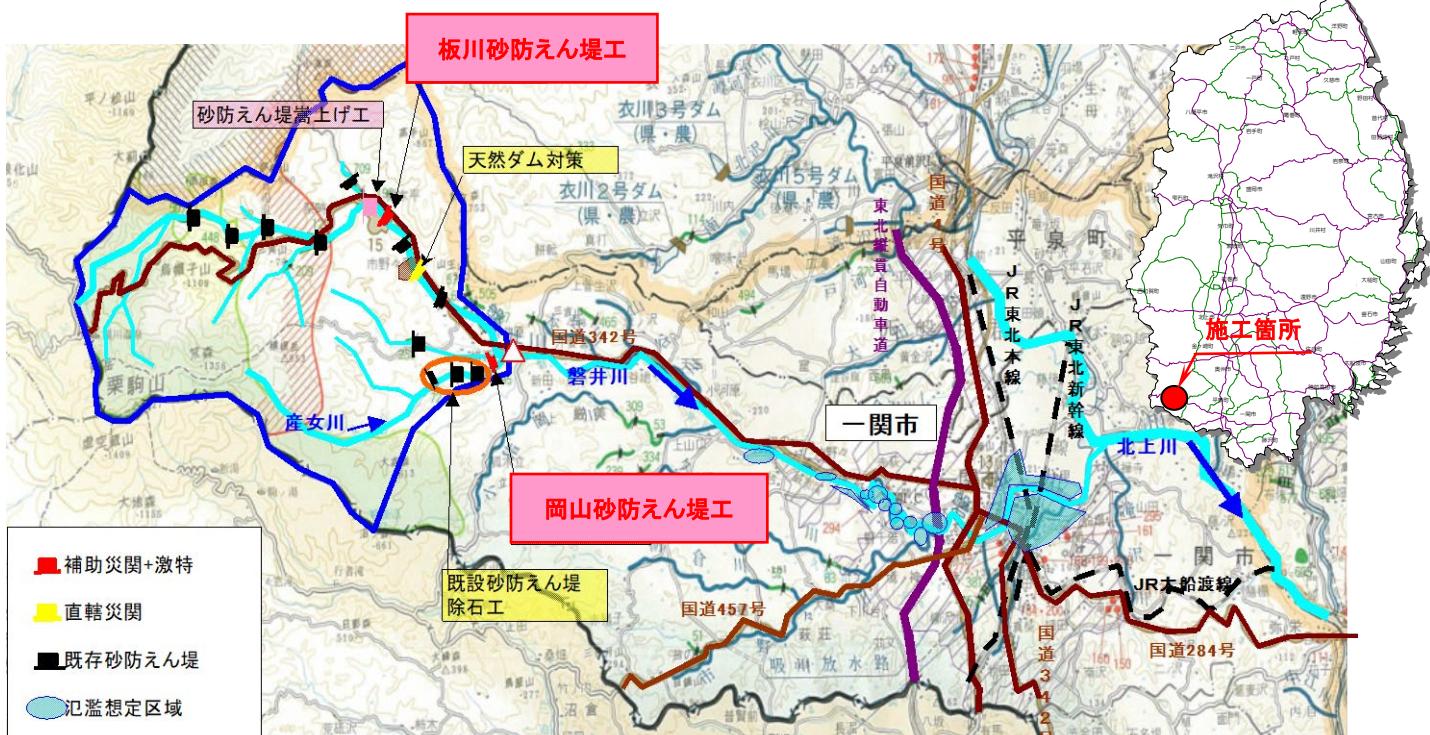
岩手・宮城内陸地震の崩落土砂対策工事が進行中！！

砂防災害課
一関総合支局土木部

県では、平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で発生した磐井川上流における大規模土砂崩落に対応するため、磐井川板川地区と産女川岡山地区において砂防えん堤工事を実施しています。

昨年12月に着手した槻木平砂防えん堤からの除石工に引き続き、平成21年5月から両えん堤工事に本格的に着工。板川地区は8月7日、岡山地区は8月11日にコンクリート初打設を実施し、平成23年3月の完成を目指しています。

また、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所が進めている一関市市野々原地区の河道閉塞箇所（天然ダム）の対策工事では、排水路の拡幅工事が進んでいるほか、9月17日には磐井川、産女川の2河川に3つの砂防えん堤を整備する「栗駒山系直轄特定緊急砂防事業」の着工式が行われるなど、崩落土砂対策工事が着実に進んでいます。



津波防災に関する出前講座を開催！！

久慈地方振興局土木部

久慈地方振興局土木部では、昨年度に引き続き、防災教育の一環として、管内小学校で『津波防災に関する出前講座』を開催しました。

今年度は、6月から9月にかけて5校で開催し、子供たちは津波のメカニズムや、過去の岩手県における津波被害状況、津波から避難する方法などを学びました。

参加者からは「映像では自分の家も水にのまれそうだった。真剣に避難訓練などをやって、いつ津波が来ても逃げられるようにしたい」（野田小学校5年生）や「津波の怖さが良くわかった。浸水予想区域内にある湊小学校と長内小学校の校長に、機会があったらこの講座をぜひ受けるように話したい」（小袖小学校長）などの感想が聞かれました。その他、「PTA を対象に講座を開催してほしい」などの要望も寄せられています。

本出前講座は、子供たちの津波に関する知識と防災意識の向上を図るとともに、子供たちが家庭に帰ってから津波について家族と話し合うことにより、大人の津波防災意識の啓発や津波災害経験の風化防止の効果などを期待しており、今後もこのような出前講座を開催していくこととしています。



真剣な表情で学ぶ子どもたち



昭和35年千り地震津波の被害状況（大船渡市盛町）



津波のメカニズム（出前講座の資料より）

自転車利用促進社会実験のご紹介（盛岡市）

盛岡地方振興局土木部

盛岡市では、「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」（自転車条例）が平成 20 年 4 月 1 日から施行されました。自転車条例では、市民が誰でも気軽に利用できる交通手段として自転車を位置づけ、利用促進を図ることとしています。

自転車が利用しやすい環境整備の社会実験として、平成 20 年度に「自転車走行環境の整備」、「自転車駐車環境の整備」などが行われ、東大通り、公園下、大通地区ではブルーゾーンが設置されました。ブルーゾーンの設置により、「歩道を通行する自転車の割合が減った」などの効果が得られましたが、自転車の逆走（右側通行）が増加するなどの問題点もありました。

自転車の安全で快適な利用のためには、環境整備などのハード整備も必要ですが、自転車を利用する方々のマナーアップも大切です。今一度、自転車のルールを確認し、快適で安全な自転車ライフを楽しんでみてはいかがでしょうか。



<整備前>

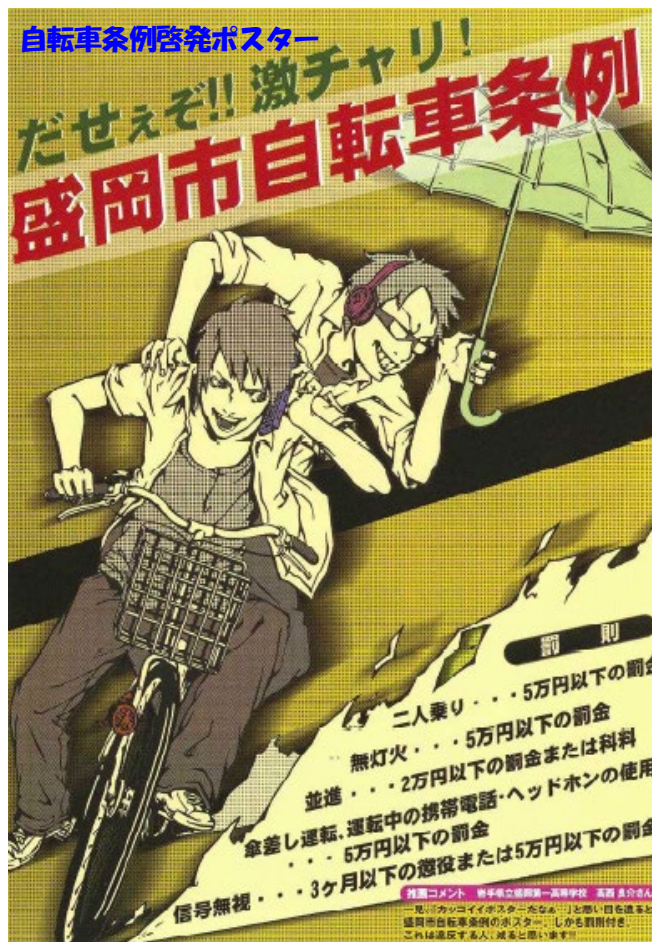
東大通りのブルーゾーン整備状況



<整備後>



大通りの自転車駐輪場



～自転車条例の基本方針～

- ◆自転車が利用しやすい環境整備
- ◆ルール徹底による安心安全な利用の周知
- ◆安全利用を実行してもらうための啓発活動の推進
- ◆自転車利用者の適切な責務の実行

～守りましょう、自転車のルール～

自転車に乗るときは、ルールを守り、安全に利用しましょう。

- 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を走行
- 歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る
 - ・飲酒運転、二人乗り、平進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- 子供はヘルメットを着用

釜石港にジブクレーンが登場（釜石市）

～内航フィーダーコンテナ航路開設をめざして～

港 湾 課

釜石市の第3セクター釜石港物流振興(株)が北海道釧路市から購入したジブクレーンが9月15日に釜石港内にお目見えしました。このジブクレーンは、「ジブ（腕木）」の名のとおりコンテナを吊り上げる大きな腕木を持ち、1時間当たり18本のコンテナを荷役する能力を持っています。

釜石港では、内航フィーダーコンテナを輸送する国内定期航路の開設に向けて、釜石市が中心となって平成20年10月に第3セクター釜石港物流振興(株)を設立し、船舶にコンテナを積み降ろしするクレーンなどの荷役機械の整備を進める取組みを行っています。釜石港物流振興(株)では、これまでにコンテナをコンテナヤード内で運搬するストラドルキャリアを導入していますが、今回購入したジブクレーンは、釜石港における荷役機械の主役となるものです。

現在は、本格運用に向けて購入したジブクレーンの点検・整備を行っているほか、釜石地方振興局土木部でも耐震岸壁（-7.5m）の補強工事に取り組むなど、官民で年度内の航路開設に向けた取組みを進めています。

<ジブクレーン諸元>

自重：350 t
 定格荷重：35.0 t
 回転半径：28.0～10.5m
 揚程：-9.5～19.5m
 荷役能力：18本/hr



内航フィーダーコンテナ輸送とは？

国内主要港と地方港を結ぶ、外国貿易コンテナの国内2次輸送のこと。世界の各港湾とつながっている京浜地区などの港湾でコンテナを国際航路の船舶に積み替えることで、地方港でも各国との貿易取引が可能になる。フィーダーは幹線に対する支線の意味である。

10 月は『耐震促進運動月間』です！！

～大地震への対策は万全ですか～

建築住宅課

10 月は「住生活月間」となっており、全国で住まいに関する各種イベント等が開催されています。これに併せ、岩手県では、10 月を『耐震促進運動月間』と独自に定めて住宅・建築物の耐震化を促進しています。

今年度の『耐震促進運動月間』では、次の4点の取組みを重点的に展開しています。

宮城県沖地震（県内予想最大震度6弱）は、今後 30 年以内に 99%の確率で発生すると予想されています。自宅などの耐震性についてもう一度確認し、必要な対策を講じましょう！

◇取組1 戸別訪問形式による木造住宅耐震診断のPRを行います！

県・市町村職員及び建築士が、直接各住居を訪問し耐震診断の実施を促します。

① 実施期間：平成 21 年 10 月 1 日～10 月 15 日 ② 訪問戸数：1,200 戸

③ 実施主体：16 市町村

（久慈市・遠野市・一関市・陸前高田市・二戸市・八幡平市・奥州市・葛巻町・滝沢村・紫波町・平泉町・住田町・山田町・田野畑村・九戸村・一戸町）、（社）岩手県建築士会

◇取組2 木造住宅耐震対策出前講座を開催します！

次代を担う子供たちへの防災意識の継承を目的に、小中高校生を対象とした出前講座を開催します。講座の内容としては、地震発生のメカニズムや昨年の地震被害等を紹介しながら、簡単な住宅の耐震診断や模型を用いた実習を行います。

① 実施予定校数：6 校（小学校 1 校・中学校 4 校・高校 1 校） ② 受講予定者数：計 416 名

◇取組3 町内会等への木造住宅耐震対策説明会を開催します！

市町村の職員が町内会に出向き、木造住宅の耐震対策の必要性について丁寧に説明します。

① 実施期間：平成 21 年 10 月 1 日～31 日

② 開催地区：13 地区

③ 実施主体：10 市町村（盛岡市、北上市、久慈市、陸前高田市、二戸市、滝沢村、西和賀町、平泉町、山田町、軽米町）

◇取組4 旧耐震基準の大規模建築物への耐震対策の指導を強化します！

大地震で倒壊する恐れがあるのは住宅だけではなく、大きな建物も同じです。特に、いろいろな人が利用する商業施設や病院などの建物は、大地震で倒壊した場合、利用者だけではなく周辺への影響も大きいことから、県及び市役所の職員が建築物所有者を直接訪問して、耐震診断や耐震改修の実施を促します。

『津波防災推進フォーラム』を開催します

～地域と学校で宮城県沖地震に備える～



地震だ!津波だ!すぐ避難!

～地域と学校で宮城県沖地震に備える～

津波防災推進 フォーラム

10月28日(水) **入場無料**
13:15～16:30
釜石市民文化会館 大ホール



釜石港・湾口防波堤
国土交通省東北地方整備局
釜石港湾事務所 提供



昭和35年チリ地震津波(宮古市)

基調講演

「三陸地域における津波対策について(仮)」
岩手大学工学部長 堺 茂樹 氏

パネルディスカッション

自主防災組織、災害医療、防災教育代表者による
活動紹介・意見交換

創作劇「暴れ狂った海」 ～大船渡市立綾里小学校～

明治と昭和の三陸大津波を題材として、当時の津波による悲惨な状況を演じ、津波の恐怖と命の大切さを伝えます。

平成19年度防災教育チャレンジプラン優良実践団体に認定、同プランの成果発表会で特別賞等を受賞。



津波模型展示 ～岩手県立宮古工業高等学校～

模型と水槽を組み合わせることで、宮古湾周辺における津波発生時の浸水の様子を再現します。

とうほく☆地域を守る防災コンテスト2007で最優秀賞、平成20年には、(社)全国海岸協会から海岸功労者表彰を受賞。



主 催：岩手県（大船渡地方振興局、釜石地方振興局、宮古地方振興局）
後 援：大船渡市、陸前高田市、住田町、釜石市、大槌町、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、川井村、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、釜石港湾事務所

.....【開催趣旨】.....

大船渡、釜石及び宮古地方振興局では、発生確率が高まる宮城県沖地震に備え、地震や津波災害を正しく理解し、地域と学校の防災対策を推進することで地域社会全体の防災力を高めるため、津波防災推進フォーラムを開催します。

■プログラム(予定)

- 12:15～ 開場 ～防災パネル及び津波模型展示～
 13:15～13:20 開会挨拶
 13:20～14:10 基調講演「三陸地域における津波対策について(仮)」
 講師:岩手大学工学部長 堺 茂樹 氏
 14:10～14:20 休憩
 14:20～15:35 パネルディスカッション「実践!地域と学校で防災対策」
 [コーディネーター]
 堺 茂樹 氏 (岩手大学工学部長)
 [パネリスト]
 三上 洋一 氏 (宮古市第十分団地区防災会連合会長)
 山野目辰味 氏 (大船渡病院副救命救急センター長兼脳神経外科長兼災害医療科長)
 森本 晋也 氏 (釜石市立釜石東中学校教諭)
 15:35～15:45 休憩
 15:45～16:30 創作劇「暴れ狂った海」～大船渡市立綾里小学校～
 16:30 閉会

■会場案内

釜石市民文化会館

(釜石市大町3-10-22 TEL 0193-22-2266)

【交通案内】

- JR釜石駅より徒歩約17分
- JR釜石駅よりバスで約5分(「岩手銀行前」下車)



■申込方法

氏名、郵便番号、住所、電話・FAX番号及び「津波防災推進フォーラム参加希望」と明記の上、下記のいずれかの方法でお申し込み下さい。(10月23日(金)〆切)

E-mail : fa0009@pref.iwate.jp (釜石地方振興局企画総務部) 行

T E L : 0193-25-2701 F A X : 0193-23-3472

FAX参加申込書	フリガナ			
	職別・所属・役職名			
	住 所			
	電 話	()	()	()
	F A X	()	()	()

※今回の申込によって取得した個人情報は、当フォーラムに関するご連絡、または参加確認以外には使用いたしません。

【お問い合わせ】 釜石地方振興局企画総務部 釜石市新町6-50 TEL:0193-25-2701